



# カリオンの囁き

2022.5.23

## 【学校教育目標】

時代の変化にしなやかに対応できる力と豊かな心を持ち、たくましく未来を開く生徒の育成

## 他を思いやる言動⇒良い集団の形成

### （旅行的行事の成功から）

修学旅行、野外活動、校外学習と各学年大きな行事がありました。それぞれ大きな事故もなく、生徒たちは一回り大きくなって帰ってきました。改めて、送り出してくださいました保護者の皆様に感謝申し上げます。

日常の学校生活だけでなく、学校とは違う場所でも、生徒たちは多くのことを学び、大きく成長していきます。ともに目的の一つとして「よりよい集団づくり」があげられます。その機会の一つが今回実施した旅行的行事でした。私は、修学旅行と野外活動と一緒にきましたが、随所に生徒たちの「他を思いやる行動」を見ることができ、さすが郡中、すばらしい学校だと改めて感心しました。

◎手に荷物を持ってバイクの料理を取ろうとしていたところ、「校長先生、荷物持ちますよ。」と声を掛けてくれた3年生。

◎田植えが終わった後の昼食で、レジャーシートに座らせてくれた2年生。

◎ルールや時間をしっかり守り、みんなが気持ちよく活動できるよう意識して行動した生徒たち。

◎静と動（きちんとする場面と盛り上げる場面）のメリハリをきちんとつけていた生徒たち。これも大きくとらえれば、他を思いやる行動ですよ。

修学旅行で「ディズニーから学ぶおもてなしキャリアアップセミナー」で講師を務めてくださった方から、先日メールが届きました。うれしい内容だったので、一部紹介したいと思います。

13日の修学旅行セミナーでは大変お世話になりました。生徒さんたちの純粋でまじめに取り組む姿にすっかり心打たれてしまいました。皆さん、細かく一生懸命メモを取ってくださり、私からの無茶ぶりにも思考をフル回転して答えようとしてくださって、本当に嬉しかったです。そして、最後の御礼のご挨拶をしてくださった生徒さんには驚くばかりでした。あれだけの緊張感の中、メモも持たず堂々と自分の言葉でお話をされる姿は、他校でもあまり見られません。まさしく貴校で育まれた力ですね。

今回の旅行的行事で、より良い集団づくりができたかどうか。生徒の皆さんにも考えてほしいと思います。

以前、ある専門機関の職員の方から次のような話を聞いたことがあります。

「ある学校で、友達と頻りにトラブルを起こしては暴力を振るってしまう生徒がいた。家でも親の言うことを聞かず、時には夜中まで帰ってこないこともあった。あるときに、親の仕事の都合で転校することになった。新しい学校の先生方もとても心配していたのだが、新しいクラスでは、皆が気軽に声を掛けてくれ、転校生であるこの生徒に優しく接してくれた。しばらくすると、この生徒は行事などでもクラスの友達と一緒に活動できるようになるばかりか、時にはリーダーとして笑顔で活動する姿も見られるようになった。この姿こそが、この生徒の本物の姿だったのだと感じた。」

私が担任をしていたときも、同じような経験をしたことがあります。その生徒は、専門

機関の職員の方の話と同じような感じで、転校してきた当時は、表情も陰しく、しょっちゅう問題を起こす、ナイフのような感じがする生徒でした。しかし、学級の良い雰囲気や優しい友人たちにも恵まれ、1年後には学級分散会でリーダーシップを発揮し、仲間とともに企画運営にあたり、大いに盛り上げてくれる存在にまでなりました。彼が卒業して数年後、東日本大震災が起きました。当時私が勤務していた富沢中学校の体育館も避難所になったのですが、同級生だった友人3名と一緒に、避難所が閉鎖されるまで、避難者に対して献身的に尽くす彼の姿がありました。優しく、思いやりのある環境の中で生活すると、人は優しく、笑顔になるのだと思います。しかし、どんなにしっかりした、明るい人であっても、思いやりのない、意地悪な環境の中では、本当の笑顔を見せることはできません。

### より良い集団づくりは自分自身の困難を乗り越える力になる

「天に向かって唾を吐く」という言葉があります。「上を向いて唾を吐くと、それがそのまま自分の顔に落ちてくること」から、人に害を与えようとして、かえって自分に災いを招くことのたとえとして使われる言葉です。誰かをばかにしたり、思いやりのない言い方をしたりすることは、自分自身をそういう優しさのない環境に身を置くことになり、自分自身が嫌な思いになるのだと思います。だからこそ、より良い集団づくりをするということはとても大切なことなのです。日々の生活の中では、毎日が楽しいことばかりではなく、つらいことや苦しいこともたくさんあります。しかし、他を思いやることのできる集団の中で生活していたとすれば、つらさの中でも心に安らぎを感じることができし、困難なことを乗り越えようとする力もわいてくるのだと思います。自分たちが生活する環境は、自分たちの力でより良いものにする必要があるわけです。

**良い環境を皆の手で！ 頑張れ郡中生！**

**何事もこつこつ こつこつ！**

1. 01 × 1. 01 × 1. 01 × 1. 01 … の 365 乗は？

1.01の法則  $1.01^{365} = 37.8$

コツコツ努力すれば、やがて大きな力となる！

0.99の法則  $0.99^{365} = 0.03$

少しずつ手を抜けば、やがて力はなくなります。

「スラムダンク」という漫画を知っていますか。主人公の桜木花道がバスケットボール部顧問安西先生や多くの人たちとの出会いの中で、バスケットボールプレイヤーとして成長していくストーリーです。こんなシーンがあります。

桜木花道「オヤジ…何をやったらいいんだ？」

安西先生「シュート2万本です。」

その言葉を聞いて周囲のメンバーがびっくりする中、花道はこう言うのです。「2万で足りるのか？」

花道はその後2万本のシュート練習を自らに課し、それを成し遂げます。そしてこのシュートが……。あとは読んでのお楽しみ。

※ これは漫画の中の話だから・・・と思っははいけません。あの有名なイチロー選手も言っているではありませんか。「夢を掴むことというのは一気に出来ません。小さなことを積み重ねることによっていつの日か信じられないような力を出せるようになっていきます。」と。やったらやった分だけ力になるのは、スポーツも勉強も同じです。あなたの人生にとって、血となり肉となること間違いなし！

